

多様な医療ニーズに対応できる人材を育成する

放射線治療インテンシブコース概要

<p>研修の専門分野</p>	<p>放射線治療学</p>
<p>コース概要</p>	<p>受講者により以下の A、B に分類される。</p> <p>A <u>放射線治療従事者のための教育トレーニング</u> 放射線治療従事の医学物理士・診療放射線技師・看護師・医師 に対し放射線物理学を中心とした教育</p> <p>B <u>放射線治療従事者以外のがん医療に携わる専門医などの教育</u> トレーニング他科医師、看護師などを対象として臨床放射線 治療学を中心とした教育</p> <p>放射線治療従事者に対しては放射線腫瘍学会認定医の指導のもと実際の放射線治療計画演習、医学物理士・品質管理士の指導のもと放射線治療品質管理ならびに放射線治療システムの QA/QC、並びに放射線治療計画から効果・有害事象の予測といったより高度な放射線治療学を習得する。放射線治療従事者以外の対象者には、放射線科専門医の指導により放射線生物学・放射線物理学の基礎知識の再確認の後、各疾患に必要な放射線診断学と放射線治療学の基礎を修得する。さらに放射線腫瘍学会認定医により各疾患別放射線治療計画の演習と効果・有害事象を理解しその対処法の修得といったより臨床放射線治療に即した内容となる。</p>
<p>修了要件 及び履修方法</p>	<p>放射線治療従事の医学物理士・診療放射線技師・医師に対し放射線物理学を中心とした教育支援をする。放射線治療従事者以外のがん医療に携わる他科専門医師、看護師を対象として、各疾患別に臨床放射線治療学を中心とした教育を行う。</p>
<p>修練内容</p>	<p>[下記を履修し、必修単位数を習得したと見做された者を修了者とする]</p> <p>◆講義：腫瘍学 I 基盤講義（医療現場・学際領域）～腫瘍学 II 横断講義（予防・研究開発） ※オンライン学習（e-learning） ※講義の日程や内容は変更になる場合があります。</p> <p>◆実習：160 時間</p>